

# 技術・家庭科 《第3学年家庭分野》年間指導計画・評価計画

杉並区立杉森中学校

## 家庭分野の目標

家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身につけられるようにするとともに、よりよい生活の実現に向けて課題をもって生活をよりよくしようとする能力と生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

| 月  | 題材名  | 指導目標  | 指導内容   | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   | 評価の方法                             |
|----|--|---|--|--|---|---|-----------------------------------|
| 4  | A2.幼児の生活と遊び<br>〈2時間〉<br>① わたしの成長をたどる<br>② 幼児の体の発達<br>③ 幼児の心の発達<br>④ 幼児の心身の発達と家族の役割 | ○幼児期への関心をもつ。<br>○幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性とともに、個人差があることを理解する。<br>○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。<br>○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとの役割について理解する。 | ・自分の幼児期をふり返り、幼い頃の夢やエピソードなどをまとめる。<br>・幼児と今の自分の脈拍の違いについて知り、幼児の体の発達の特徴について考える。<br>・家族に抵抗する幼児を想像し、幼児の心の発達の特徴について理解する。<br>・幼児が基本的生活習慣を身につけていく過程での家族や周囲のおとの役割を考える。 | ・幼児の身体の発達の特徴について理解している。<br>・幼児の心の発達の特徴について理解している。<br>・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 | ・幼児との関わり方にについて問題を見いだして課題を設定している。<br>・幼児との関わりについて解決策を構想している。 | ・幼児との関わり方にについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。<br>・幼児との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 | 行動観察<br>ワークシート<br>ワークノート<br>定期テスト |
| 5  |  |   |  |  |   |   |                                   |
| 6  |  |   |  |  |   |   |                                   |
| 7  | *幼児の心身の発達に合わせた遊び道具の製作<br>〈7時間〉   | ○幼児の発達に合わせた調理や製作ができるようにする。  | ・安全性や製作手順と時間に注意する。   | ・丁寧かつ安全な調理や製作ができる。   | ・遊び方やデザインに工夫がある。  | ・見通しをもって計画を立てている。   | 行動観察<br>作品<br>ワークシート<br>定期テスト     |
| 9  |  |   |  |  |   |   |                                   |
| 10 |  |   |  |  |   |   |                                   |

|    |  |  |  |   |  |   |                                   |
|----|--|--|--|---|--|---|-----------------------------------|
| 11 | 2.幼児の生活と遊び<br>⑤ 子どもの成長と地域<br>⑥ 幼児の遊びと発達<br>⑦ 幼児の遊びを支える<br>3.幼児とのふれあい<br>1 探求<br>おやつやデザートを作ろう | ○子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で、中学生ができるることを考える。<br>○自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。<br>○幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。<br>○幼児とのかかわり方について、感じたことや考えたことを話し合い、幼児への理解を深める。 | ・幼いころに遊んだ経験を思い出し、幼児がいろいろな遊びで育つ力について考える。<br>・幼児のために工夫された遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。<br>・さまざまな幼児がいることを理解し幼児との接し方を考える。 | ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。<br>・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。<br>・幼児にとっての遊びの意義について理解している。<br>・幼児との関わり方について理解している。 | ・幼児との関わりについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。<br>・幼児との関わりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。 | ・幼児との関わり方にについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。<br>・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 | 行動観察<br>ワークシート<br>ワークノート<br>定期テスト |
| 12 |  |  |  |   |  |   |                                   |
| 1  |  |  |  |   |  |   |                                   |
| 2  |  |  |  |   |  |   |                                   |
| 3  | 4.これからのわたしと家族<br>① 中学生と家族とのかかわり<br>② これからのわたしと家族との関係<br>高齢者とのかかわり<br>〈1時間〉                   | ○家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。<br>○地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。  | ・家族関係をよりよくする方法を考える。  | ・家族の互いの立場や役割について理解している。<br>・介護など高齢者との関わり方について理解している。  | ・家族とのかかわりについて考察したことを論理的に表現している。<br>・高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。              | ・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家域との関わりについて工夫し創造し、実践しようとしている                                    | 行動観察<br>ワークシート<br>ワークノート          |

年間合計 17 時間